

環境広場さっぽろ 2019
～開催テーマ：環境と SDGs～

交通政策部 環境・物流課



「環境広場さっぽろ」とは、2002年より市民・企業・行政がそれぞれの立場から環境保全活動の取組を紹介し、交流することを目的とした総合環境イベントです。毎年、大規模に開催され、環境保全にむけた意識を醸成し、地球環境を守るための活動を発展・拡大させています。

「環境広場さっぽろ 2019」は、令和元年8月12日（月曜日・祝日）、13日（火曜日）、札幌ドームにて開催されました。今回のテーマは「環境と SDGs」です。2015年9月の国連サミットで採択された2030年までの国際目標であるSDGs（持続可能な開発目標）を通して、未来を担う子どもたちやその家族に対して、この豊かな地球環境を次世代に引き継ぐ大切さを伝えることを目標としていました。

※札幌市 HP 参照

イベント当日は、札幌市副市長をはじめ、四名によるテープカットで始まり、各出展ブースやスタンプラリー、ステージイベント等が行われました。



テープカットの様子

会場は、環境ZONEやスポーツZONEなど6つのエリアが設定されていました。各ZONEにて、ふわふわコーナーやクイズラリー、テクノスポーツ体験といった様々な催しに参加す

ることができ、子どもから大人まで心ゆくまで楽しめる内容でした。

来場者数は昨年を超え、26.088人という大盛況のイベントでした。



エネラふわふわコーナー



モノマネ芸人 ピ小太郎

北海道運輸局では、環境 ZONE の「全国通運連盟/JR 貨物」のブースにて、公益社団法人全国通運連盟、日本貨物鉄道株式会社と連携し参加しました。

本ブースの内容をご紹介します。



『地球温暖化実験』

こちらでは、二酸化炭素が本当に地球を暑くさせてしまっているのか確かめる実験を行いました。

二酸化炭素が多いカプセルと、少ないカプセルの二つを用意し、同じ条件で加熱と冷却を行い、温度の上がり方と下がり方を比べるというものです。

実験の結果から、二つのモデルで温度の上昇と下降に差が生じ、二酸化炭素には熱を籠もらせる効果があることを証明できました。

結果を通して、最高気温及び最低気温の上昇が続けば、生活することが困難になるという、地球温暖化の危機性についても、感じていただけたと思います。

『Nゲージ鉄道模型』

動力に電気を用いた鉄道模型を展示しました。日本国内では全てのメーカーが採用しているNゲージで造られています。

町並み等も細かく再現されており、たくさんの方々が興味深くご覧になっていました。



『エコレールマーククイズ』

こちらは、環境にやさしい鉄道コンテナ輸送の仕組みや特徴が掲載されたパネルを参考に回答するクイズです。

大人の方や子どもたちも親御さんと協力してクイズに参加しており、二日間で700名以上の方にご参加いただきました。

また、北海道内航海運組合より、「日本を支える内航海運に関するパネル」と「内航貨物船のペーパークラフト等のグッズ」を提供していただき、パネル展示とグッズ配布を行いました。船に関心が高い子どもたちも多く、とても注目されていました。



『エコレールマークパズル』

エコレールマークが描かれている絵を完成させるパズルです。

お友達と競争したり、親御さんと一緒に作ったりと楽しんでいただきました。



終わりに、今回のイベントを通し、よりたくさんの方々に地球温暖化などの環境問題について、関心を持っていただく機会になることを願っております。

今後も環境問題への周知並びに、公共交通機関の利用促進に努めていきますので、引き続きご理解とご協力をお願いいたします。